

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 実施状況と効果検証

N o	事業名	事業概要	事業実施状況・実績	効果検証	事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期
1	避難所等の感染症対策	災害発生により避難所生活を送る方々の中で新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、非接触式の検温器を購入する。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスク需要が全国的に高まり市場での流通も限られている状況である中、区職員、避難所用としてマスクを購入する。	避難所等への非接触型検温器（サーモグラフィー）の設置台数 101台 避難所、職員用等マスク購入 70万枚	新型コロナウイルス感染症対策のための物品を配備、配布することで、感染拡大防止に寄与した。	32,047,400円	32,047,000円	令和2年4月	令和2年9月
2	中小企業融資利子補給	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業・小規模事業者の資金繰りを支援する。	令和２年度分利子補給件数 2,887件	コロナ禍で厳しい経営状況に置かれている中小企業の資金繰りを支援することができた。	213,927,774円	213,927,000円	令和2年4月	令和2年12月
3	新型インフルエンザ等感染症対策	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入手困難になった衛生資材を医療現場に提供することで職員を感染から守り医療機関の体制を整える。	医療用マスク、ゴーグル、防護服、フェイスシールド、消毒液等の物品を区内の7医療機関、3 医師会、2 歯科医師会、2 薬剤師会、柔道整復師会へ提供	医療従事者の感染から守り、医療機関の体制維持に寄与した。	71,156,783円	71,156,000円	令和2年4月	令和2年6月
4	地域医療連携の推進（新型コロナウイルス感染症入院患者受入支援事業）	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院に対して、医療提供体制を維持し、医療関係者が安心して従事できるよう支援する。	助成金交付病院 6病院	新型コロナウイルス感染症の感染が確認された患者の入院受入病院に勤務する医療関係者等の負担を軽減し、区内の医療提供体制確保に寄与した。	104,800,000円	104,800,000円	令和2年7月	令和3年4月
5	保育施設等の臨時休園等に対する支援事業	施設と保護者との間で直接契約が結ばれている、定期利用保育事業実施施設や東京都認証保育所等において、登園を自粛した保護者に対して積極的に保育料の負担軽減を行えるよう、保育施設等への助成を行う。	補助対象保育施設 94施設	臨時休園時の保育料を補助することにより、保育事業者の負担を軽減するとともに、保護者の保育料負担がなく、臨時休園による感染拡大防止に寄与した。	95,441,110円	48,745,000円	令和2年5月	令和3年5月
6	GIGAスクール構想への支援事業	児童生徒へ1人1台のタブレット端末を配備することで新しい学び及び緊急時のオンライン学習へ対応する。	区立小学校全60校に対し、一人1台のタブレット端末の配備を完了した。	タブレット端末等の導入により、各学校でICTを効果的に活用した授業を実施することが可能となった。また、臨時休校になった際でも学習の継続が可能となった。	590,681,000円	589,125,000円	令和2年7月	令和3年4月

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 実施状況と効果検証

No	事業名	事業概要	事業実施状況・実績	効果検証	事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期
7	小児インフルエンザ予防接種費用助成	インフルエンザワクチン接種費用を助成し接種率を上げ、学校等における感染拡大リスクを低減させ、医療現場の安定した診療体制を確保する。	助成対象人数 76,995人	接種費用を助成し接種を促すことで、インフルエンザの感染拡大リスクを低減し、医療機関の負担を軽減するとともに医療提供体制を確保することができた。	161,052,336円	160,896,000円	令和2年10月	令和3年1月
8	事業補助費（大田区産業振興協会）	従来から新製品・新技術開発へ助成及び表彰することで、区内企業の製品開発力・技術力の向上を図り、高付加価値の創出や区内企業ネットワーク形成に寄与してきた。 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、更なる支援を行うことで、区内企業の研究開発を後押しする。	開発ステップアップ助成 1件 実用化製品化助成 2件	新型コロナウイルス感染症により不況に直面している大田区企業の研究開発を後押しし、区内経済の活性化に寄与した。	14,743,000円	14,743,000円	令和2年8月	令和3年5月
9	就学援助	令和2年度夏季休業日の短縮に伴い、8月分給食費、学用品費を支給する。また、感染症対策の徹底及び熱中症対策として、家庭でマスクや水筒等を準備するため、学用品費を増額して支給する。	就学援助費支給者数 小学校：5,388人 中学校：2,937人	感染症拡大期間における児童生徒への保護者の経済的負担軽減に寄与した。	94,888,760円	78,412,000円	令和2年4月	令和3年3月
10	校内環境衛生設備の整備	新型コロナウイルス感染予防のため、区立小中学校等のトイレ手洗いの水栓を直接手を触れない非接触型の自動水栓式へ変更する。	区内小中学校88校のトイレ手洗いの水栓を非接触型の自動水栓式へ変更	手洗いの蛇口を自動水栓化することにより、ウイルスの付着による感染リスクを低減し、感染症拡大防止に寄与した。	109,098,880円	109,098,000円	令和2年8月	令和3年3月
11	商店街活性化推進事業（商店会支援）	地元店舗の利用を促進し、魅力再発見と今後の持続的消費につなげるため、区内商店街が区内店舗における販売促進や販路開拓を推進するための事業に対して支援する。	商店街活性化推進事業を主催した商店会数 42件	新型コロナウイルス感染症の拡大により甚大な被害を受けた商店街の販路促進、販路開拓の推進支援に寄与した。	17,349,000円	17,349,000円	令和2年5月	令和3年5月
12	商店街活性化推進事業（プレミアム商品券）	リモートワークの広まり等、新しい生活様式が定着していくなかで、消費者の購買意欲を高め、商店街で買い物するという地元回帰の流れを促進するため、商店街・地域単位で利用できる「プレミアム商品券」を発行する。 また、「成人のつどい」代替事業として、新成人に区内共通商品券を発送する。	地域商品券を発売した商店会数 59商店会	新型コロナウイルス感染症の拡大により甚大な被害を受けた商店街において、創意工夫により商品券を発行し、区民の消費を誘発することで、消費活動の活性化をもたらし、新たな経済循環創出に寄与した。	169,759,520円	148,090,000円	令和2年6月	令和3年5月

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 実施状況と効果検証

N o	事業名	事業概要	事業実施状況・実績	効果検証	事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期
13	保健室備品・消耗品等（サーモグラフィ）	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、臨時休業としていた区立小・中学校の再開にあたり、感染症防止対策に万全を期すため、児童生徒及び教職員、来校者の健康観察に必要な物品として、全ての小・中学校にサーモグラフィを導入する。	区内88小中学校に非接触型検温器（サーモグラフィ）を導入	安全安心な学校環境を整備し、感染症防止に寄与した。	34,800,480円	15,447,000円	令和2年7月	令和2年11月
14	大田区感染拡大防止協力金	営業時間短縮に協力した「酒類の提供を行う飲食店」及び「カラオケ店」に対して協力金を支給することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。	支給件数 のべ3,028件	東京都の支援に追加する形で追加給付を行うことにより、感染拡大防止及び「酒類の提供を行う飲食店」及び「カラオケ店」事業継続の支援を行うことができた。	228,000,000円	227,979,000円	令和2年9月	令和3年3月
15	多文化共生のネットワークづくり	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、外国人区民に対する各種支援や相談に円滑に対応できるよう、多言語通訳タブレット端末を整備する。	既存の7台に加え新たに18台配備 年間利用件数：881件 年間利用時間：196時間8分	外国人区民に対する新型コロナウイルス感染症に係る各種支援や相談に円滑に対応でき、外国人区民サービス向上に寄与した。	3,401,640円	3,401,000円	令和2年5月	令和3年4月
16	奨学金	新型コロナウイルス感染症の影響から、大学等に在学、進学を予定する生徒は遠隔授業への対応が必要となり、通信費用など新たな経済的負担が生じている。	在学生700人、進学生163人に対して臨時給付型奨学金を交付	新型コロナウイルス感染症により遠隔授業等の対応が必要になった学生の経済的負担の軽減が図られた。	59,450,000円	59,450,000円	令和2年9月	令和3年4月
17	地域医療連携の推進（病床確保支援）	新型コロナウイルス感染症の感染患者等の入院を受け入れるために病床を確保したが、利用されなかった当該病床について、助成金を交付することにより、患者の受け入れ病床を安定的に確保し、区内の医療提供体制を維持することを目的とする。	区内6病院に対して助成金を交付	新型コロナウイルス感染症の受け入れ可能な病床を確保することにより、医療崩壊を防ぎ、地域での療養を可能とする環境整備を図ることができた。	276,480,000円	271,102,000円	令和2年4月	令和3年4月
18	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、教室などの清掃、こまめな手洗い・手指消毒の指導等、感染症対策に必要な物品を購入する。また、夏季休業期間の短縮に伴う熱中症対策や学習保障支援のため必要な物品についても購入する。さらに給食再開に向けて納入業者への補助を行う。	区内小中学校88校へアルコール消毒液、体温等の感染症対策物品等を購入	各学校で必要な感染症対策を講じることにより、集団感染のリスクを避け、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進し感染症拡大防止に寄与した。	224,720,654円	109,234,000円	令和2年4月	令和3年3月

令和 2 年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 実施状況と効果検証

N o	事業名	事業概要	事業実施状況・実績	効果検証	事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期
19	子ども・子育て支援交付金	【コロナ対応に係る人件費】新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了日の翌日以降、〈A平日において午前中から開所〉〈B支援の単位を新たに設けて運営〉するための経費を補助する。 【コロナ対応に係る利用料減免】市区町村が新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るために、放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の日割り利用料について、市区町村が保護者へ返還した場合等の経費を補助する。	経費補助対象児童館等及び放課後ひろば86施設	新型コロナウイルス感染症により学校が臨時休業した際、午前開所に対応でき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による学校臨時休業中の子どもの居場所を確保することができた。 また、利用料減免を行うことで、利用者の負担軽減を図ることができた。	50,903,100円	16,969,000円	令和2年4月	令和2年5月
20	学校臨時休業対策費補助金	学校の臨時休業に伴う給食休止に係る給食費を保護者に対して返還等するための経費を負担し、保護者の負担を軽減する。	区内小中学校の臨時休校に伴う令和2年3月分給食費の返還対応	保護者負担の軽減と学校給食の安定的な供給に寄与した。	22,212,134円	5,542,000円	令和2年4月	令和3年3月
21	学習指導サポーター配置事業	教員に生じている新型コロナウイルス感染症対策に関わる新たな業務の縮減を図り、併せて児童・生徒に感染症対策を定着させるための指導の支援を通じて、学びの保障の実現をサポートする人材として、学習指導サポーターを配置する。	区内小中学校において令和2年10月から令和3年3月まで小学校55校9,812時間、中学校22校3,369時間、合計77校13,181時間分の学習指導サポーターを設置した。 学習指導サポーターは、学校において、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業からの教育活動の再開、及び感染症予防対策の徹底、並びにこれに伴い教員に発生した従来以上の業務の軽減が図られる場合に配置を行った。	感染予防策の徹底業務等、教育活動再開後に発生した新たな業務の軽減に寄与した。	22,407,700円	5,212,000円	令和2年10月	令和3年4月
22	新型コロナウイルス感染症及び区立学校の臨時休業に伴う生活保護世帯緊急食糧支援	新型コロナウイルス感染症の影響により、区立小中学校が臨時休業することで、給食を食べる機会を失ってしまった生活保護受給世帯に対し、白米やレトルト食品等の食品を提供することで経済的な支援を行う。	約380世帯の中学3年生以下の子どもがいる生活保護受給世帯へ白米やレトルト食品等の食品を提供	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、給食の提供がなくなってしまった期間における低所得者等に対して食料等を提供することで生活支援に寄与した。	3,373,432円	3,373,000円	令和2年4月	令和2年6月
23	新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯への支援（見守りの拡充・食の確保）	ひとり親家庭等医療費受給世帯への食の支援を行う。	ひとり親家族等へお米券を2,800世帯に配布を実施	ひとり親家族等の経済的負担の軽減に寄与した。	12,228,677円	12,228,000円	令和2年5月	令和2年7月

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 実施状況と効果検証

N o	事業名	事業概要	事業実施状況・実績	効果検証	事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期
24	保育事業費	感染症対策の徹底を図るため、食器洗浄機及び包丁まな板を消毒・滅菌し、保管するための保管庫を購入する。	区立保育園５園に食器洗浄機、７園に包丁まな板殺菌庫等を導入	保育施設における感染症防止対策の強化が図られた。	16,280,000円	16,280,000円	令和3年1月	令和3年4月
25	区民の命と生活を守る官学連携プログラム	喫緊の課題である感染症の問題に、医療の専門知見を有する区内大学と連携して取り組む。区内感染状況把握を通じた政策形成や区民への正しい知識発信、区職員の感染症リテラシー向上、緊急的な感染対策などの実施を通して新たな行財政運営モデルを確立し、73万区民の命と生活を守る。	区民の命と生活を守る官民連携プログラムとして東邦大学の寄付講座制度を活用し同大学内に「地域連携感染制御学講座」を設置	ウイズコロナを踏まえた産官学連携促進に向けた助言や区民や事業者に向けた感染対策等の広報・啓発等の取組を実施し、区民の命と生活を守ることの一助として寄与した。	10,000,000円	10,000,000円	令和2年11月	令和3年3月
26	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた区内中小企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。	令和３年３月基金設立（1,156,993千円）	長期化が見込まれる新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響に対し、区内中小企業に対する利子補給の原資として、基金を設立することで、継続的な支援体制の造成に寄与した。	1,156,993,000円	1,156,993,000円	令和3年3月	令和3年4月
27	中学校修学旅行中止に係るキャンセル料	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、修学旅行の中止に係るキャンセル料を区が負担することで、保護者の負担軽減を図る。	中学校修学旅行中止に係るキャンセル料 区立中学校28校分を負担	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により生じたキャンセル料を区が補てんすることで、保護者の経済的な負担軽減が図られた。	28,051,044円	28,051,000円	令和2年10月	令和2年10月
28	地域医療連携の推進（年未年始発熱外来事業）	年未年始に新型コロナウイルス感染症発熱外来を実施する病院に対して、その運営に係る経費の一部を補助することにより発熱外来の運営の円滑化の推進と、地域医療体制の確保を目的とする。	令和２年12月29日から令和３年１月３日までの年未年始における発熱外来の区内３医療機関の運営にかかる経費の一部を補助	年未年始に発熱患者等が地域の医療機関で診療及び検査を受けられる体制を確保した。	4,000,000円	4,000,000円	令和2年12月	令和3年2月
合計					3,828,247,424円	3,533,649,000円		